東京たまがわロータリー･クラブ創立 20 周年記念式典

私たち東京たまがわロータリー･クラブは2010年3月7日(日)に京王プラザホテル新宿において創立 20 周年記念式典を開催しました。

式典、記念事業発表、祝賀会を通して、クラブ２０年間の歴史を振り返り、これまでご支援ご協力いただいた皆様に感謝の気持ちを伝えさせていただきました。

■司会　実行委員会本部長　東海林会員

■開会点鐘(18:30)　山根会長

■物故会員に黙祷　東海林会員

故幸野会員･宮崎会員に対し哀悼の意を表し１分間の黙祷をささげます。

■開会の言葉　坂場会員

光陰矢のごとしと申しますが,その間､関係諸兄のご指導により２０周年を迎えることが出来ました｡ロータリーの崇高なる目的と楽しさを知り今日までやって参りました｡２６名と弱小のクラブではございますが､一致団結して奉仕の理想を追い求めてまいります｡尚｢２０周年の歩み｣をご一読いただければ幸いに存じます。

■斉唱　ソングリーダー　中野会員

ロータリーソング｢君が代｣｢奉仕の理想｣

■ご来賓･参加クラブ紹介　山根会長

久邇ガバナー他ご来賓と多摩東グループ及びソウル インヒョン ロータリー･クラブを紹介

■歓迎の挨拶　山根会長

当クラブは小さいながらも多彩な会員によって和気藹々で運営されてまいりました｡内外の厳しい情勢の中､ようやく成年式を迎えるに当たり､１０年、２０年先を見据えたビジョンを持ちたいと２０周年記念事業を考えてまいりました。

本日の創立２０周年事業の発表を通じて､皆様に当クラブの実情をご理解いただきたいと考えている次第です。

■ご来賓ご祝辞

・狛江市長　矢野　裕様

貴クラブは創立当初より、地域社会での障がい者支援事業など数多くの企画に積極的に取組んでまいりました。また最近では国際交流にも力を入れ、中国・雲南省へのボランティア活動や、少数民族の子供たちと狛江の児童・生徒との交流事業、日韓親善交流など、幅広い活動を続けられております。

近年、市民一人ひとりの価値観が多様化し、人のつながりが弱まる中、人間の命や尊厳がいとも簡単に脅かされている事に大変憂慮しております。こうした時代に、ロータリークラブの理念を礎として、学びあい、助け合いながら地域奉仕の先頭に立つロータリー活動は、改めて地域の絆や、人間への信頼を取り戻す力になっていると感じます。

・ＲＩ第２７５０地区ガバナー　久邇 邦昭様

私、昨年１０月２１日合同例会にガバナーとして公式訪問いたしました。その節、会長幹事さんにお会いして、このクラブは今２６名と小型のクラブではありますが、中国雲南省に点在する少数民族への支援、姉妹クラブのインヒョンＲＣとの交流とか、その他手広く活発に活動されていらっしゃるという印象を受けたのを記憶しております。クラブとして、けじめの成年式を迎えられたことで、将来に向けていろいろな可能性を秘めたクラブになるのではと非常に期待しております。

・東京狛江ＲＣ会長　井上 城治様

狛江ＲＣ２０周年記念に貴クラブを拡大させていただきました。狛江の地にあっていろいろな機会に遭遇しておりますが、若い発想、若い力を皆さん発揮されてすばらしい活動をされています。私の印象に残っているのは、障がい者を招いてのバーベキュー、バスハイク、雲南省の教育環境に恵まれない子供たちに教育の充実を図る、また盲導犬普及のための募金活動等をされており親クラブも大いに刺激を受けております。

会長さんが所信の中で、当クラブは山椒は小粒でもぴりりと辛いと言われましたけれど、まさに貴クラブの活動は関係社会にインパクトを与え、小クラブである事を忘れさせる活動を行っているという感想を持っております。親クラブとしては、嬉しくまた名誉なことと思っております。

・インヒョンＲＣ代表　Park Taebeom様

皆様こんにちは。会長山根様はじめ、たまがわＲＣの皆様創立２０周年おめでとうございます。２０年の長きにわたり奉仕と親睦を遂行され、また個人として社会生活、事業活動を通して実践されてこられた会員の皆様に改めて敬意を表します。インヒョンＲＣとは約８年前姉妹縁組をして以来、両クラブは互いに来韓、訪日を繰り返し友好クラブの提携をさせていただいております。相互の交流を重ね、深い信頼と絆を築いて参りました。これは一重に両クラブの先輩諸兄のたゆまぬ努力の結果と受け止め、心よりお礼申し上げる次第です。

貴クラブの２０周年をお祝いすると共に、今後ともロータリー精神の下によりいっそう信頼と親睦が発展していくことを確信し、貴クラブの益々のご活躍を祈念し、２０周年のお祝いのメッセージと致します。

２０周年記念事業発表

■２０周年記念事業　　牧田実行委員長

２０周年実行委員会は１昨年の４月に発足し三期にわたり事業を進めてまいりました。ロータリーで推奨されております「識字率の向上」に照準を合わせ、具体的には雲南省少数民族の子供たちの教育に少しでも役に立ちたいとの思いから計画を立て進めてまいりました。識字率向上に繋がる少数民族の子供たちと狛江市の子供たちとの間で文化交流を推進し発展させることにより、さらにロータリー活動を市民の方々に理解していただけるのではないかと期待してまいりました。

延べ２年間には３回の中国訪問、机、椅子、ベッド等の寄贈、狛江市の第一小学校、第一中学校、和泉小学校、都立狛江高校を訪問、雲南省の小学校、及び女子高校生の現状を説明し、理解していただけるよう努力してまいりました。また昨年８月には雲南省春蕾会の女子高校生を招聘し、５泊６日の日程の中で狛江高校との交流、狛江市の小中・高校生とのディスカッション形式の記念式典等は、お互い非常にいい触れ合いがあり、将来的にも得るものがあり心に残る企画だったと思います。

■少数民族の子供たちとの交流

雲南聯誼協会理事長　　初鹿野　恵蘭様

２０周年事業部長　　三木会員

上記両名よりＤＶＤを映しながら解説が縷々ありました。

少数民族の住んでいる環境、学校の施設の状況、５０の少数民族に対して、漢民族で９０％近く占められている中国の現状を説明、漢語を知らなければ一生その地を離れることなく、非常に貧しい暮らしから脱することが出来ないことなどが語られ、教育特に識字率の向上は欠かせないものであることが強く訴えかけられた。

祝賀会

国際ロータリー第2750地区 東京たまがわロータリー・クラブ
創立20周年記念祝賀会
ROTARY CLUB
TOKYO TAMAGAWA
JAPAN

ROTARY CLUB

祝賀会

東京たまがわロータリー・クラブ
創立20周年記念祝賀会

東京たまがわロータリー・クラブ
創立20周年記念祝賀会

東京たまがわロータリー・クラブ
創立20周年記念祝賀会
ROTARY CLUB